

登録番号	プロトコール名			
C90078B1	多発性骨髄腫 DaraVMP sc療法(2-9コース)			
診療科	血液内科	1クールの日数	42日	
審査日	2021年6月28日	所要時間	6分	適応外使用 <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
適応病名	多発性骨髄腫	放射線療法	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
実施部署	<input checked="" type="checkbox"/> 外来 <input checked="" type="checkbox"/> 病棟 <input type="checkbox"/> その他( )			
適応分類	<input checked="" type="checkbox"/> 初発 <input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input type="checkbox"/> 術前補助 <input type="checkbox"/> その他( )			
番号	抗がん薬名	1日投与量	投与方法	投与日(d1、d8等)
1	ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼ アルファ (ダラキユーロ配合皮下注)	1800mg	皮下注	d1,22
2	ボルテゾミブ(ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>	皮下注	d1,8,22,29
3	プレドニゾン(プレドニン)	60mg/m <sup>2</sup>	経口	d2-4
4	メルファラン(アルケラン)	9mg/m <sup>2</sup>	経口	d1-4
5				
6				
7				
8				
エビデンスレベル	<input checked="" type="checkbox"/> 治療 (エビデンスレベル <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 )			
ガイドライン文献名	Lancet 2020;395:132-41 Lancet Haematol. 2020 May;7(5):e370-e380. Br J Haematol. 2021 Mar;192(5):869-878.			
その他 (減量・増量規定、プロトコールに関する補足説明など)	【増減量基準】添付文書の記載に従う。			

プロトコールに関する解説	

# がん化学療法処方

プロトコール名		1クールの日数	
多発性骨髄腫 DaraVMP sc療法(2-9コース)		42日	
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)	投与経路	投与時間
d1,22	① レナデックス 20mg、カロナール 400mg、d-クロルフェニラミンマレイン酸塩徐放錠6mg §ダラキューロ投与1時間前までに内服。問題なければ15分前まで短縮可。 ② <b>ダラキューロ配合皮下注</b> 1800 mg 投与1時間前までにレナデックス20mg、カロナール400mg、d-クロルフェニラミンマレイン酸塩徐放錠 6mg内服。 調製後4時間以内に投与完了。 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に、約3～5分かけて投与する。 ③ <b>ベルケイド</b> 1.3 mg/m <sup>2</sup> + 生食 0.52mL/m <sup>2</sup> ベルケイドは最終濃度2.5mg/mLになるように溶解する。 投与の際は、同一コース内での同じ部位への皮下注射は避け、投与部位をローテーションする。(右腹部→左腹部→右上腕→左上腕→右大腿→左大腿など) ダラキューロと同一部位にベルケイドを投与しないこと。	経口  皮下  皮下	3-5分
d8,29	① <b>ベルケイド</b> 1.3 mg/m <sup>2</sup> + 生食 0.52mL/m <sup>2</sup> ベルケイドは最終濃度2.5mg/mLになるように溶解する。 投与の際は、同一コース内での同じ部位への皮下注射は避け、投与部位をローテーションする。(右腹部→左腹部→右上腕→左上腕→右大腿→左大腿など) ダラキューロと同一部位にベルケイドを投与しないこと。	皮下	
d1-4	① <b>アルケラン</b> 9mg/m <sup>2</sup>	内服	朝食前
d2-4	① <b>プレドニン</b> 60mg/m <sup>2</sup>	内服	
プロトコール 適応時 表示コメント	day1-4にアルケラン9mg/m <sup>2</sup> を内服。 day2-4にプレドニン60mg/m <sup>2</sup> を内服。 ダラキューロ投与1時間前までにレナデックス20mg+d-クロルフェニラミンマレイン酸塩徐放錠6mg+カロナール400mg内服する。問題なければ15分前まで短縮可。		
照射併用時 照射線量	グレイ (備考欄: )		